

横路福祉社会会報

〒七三七〇一三三
 呉市広横路四丁目一四六
 横路福祉社会
 編集発行人
 神垣 伸司
 (0823)7118197

「初めまして」

社会福祉法人 横路福祉社会
 理事長 神垣 伸司

初めまして

この度、社会福祉法人横路福祉社会 横路保育所の理事長を務めることになりました神垣伸司です。保育所として68年、社会福祉法人として36年目を迎え、社会福祉法の大きな変換点での引継ぎとなりました。これまで尽力されてこられた馬場理事長や神垣光徳理事長の後を引き継ぎ、地域に根ざした保育を推進していく所存ですので、何卒よろしく願います。

私も私の子どもも数十年前にこの保育所を卒園しました。保育所施設も変わったけれど、社会も大きく変わり、少子かつ核家族化の進行で、保育所自体が子どもの養護と保護者との連携を求められ、地域とのかかわりが希薄になってきているように思います。

横路保育所は、地域の保護者が作った、呉市でも先駆的な保育所です。したがって、地域や保護者の支えがなければ、保育所の良さも活きていかないのではないかと考えています。

保育の「量」より「質」が求められている今日、保育力の向上に向けて精進していく所存です。今後とも、ご協力よろしく願います。



平成 28 年度 事業報告書

1. 保育児童数の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0才児	4	4	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	66
1・2才児	41	42	42	42	41	42	42	42	42	42	42	42	502
3才児	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4才以上児	57	57	57	57	56	57	57	57	57	57	57	57	683
計	132	133	134	134	133	135	135	135	135	135	135	135	1,611
開所日数	25	23	26	25	26	24	25	24	23	23	23	26	293

2. 一時保育利用者数(延べ人数)の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
3才未満児	159	127	177	165	158	143	176	134	128	126	147	167	1,807
3才以上児	24	6	28	24	36	63	78	81	76	79	86	103	684
計	183	133	205	189	194	206	254	215	204	205	233	270	2,491

3. 延長保育利用者数の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
(標)利用者	133	135	173	150	165	154	183	160	163	202	236	248	2,102
(短)利用者	18	16	31	32	20	37	33	24	24	22	32	49	338

平成 28 年度 社会福祉法人 横路福祉社会

単位:円

貸借対照表

平成 29 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
流動資産	40,711,453	流動負債	5,193,404
固定資産	149,639,699	固定負債	6,389,800
		基本金	9,325,625
		国庫補助金等特別積立金	37,007,611
		その他の積立金	80,950,000
		次期繰越活動収支差額	51,484,712
計	190,351,152	計	190,351,152

自 平成 28 年 4 月 1 日

収支決算書

至 平成 29 年 3 月 31 日

科目	金額	科目	金額
人件費支出	89,168,236	保育所運営費収入	126,404,564
事業費支出	16,737,938	受取利息配当金収入	130,354
事務費支出	8,541,877	その他の収入	195,660
固定資産取得支出	3,449,796	積立資産取崩収入	20,351,000
積立預金積立支出	20,380,800		
当期資金収支差額	8,802,931		
計	147,081,578	計	147,081,578

平成 29 年度 第 1 回役員会

5月23日横路保育所において、役員会が開催されました。

主な議題は、平成28年度事業報告と、決算についてを審議し承認されました。詳細はホームページにて財務諸表、審議内容等を公開していますのでご覧ください。

平成 28 年度事業報告書

1・事業の概要

(1) 乳幼児の保育は、子どもの健全な心身の発達や人間形成の基礎を培う重要なものとして、日々の保育生活の中で「生きる力」の基礎を育成するように努めている。

異年齢の子どもたちとペアにした散歩を通して、四季を通じた自然、草花、虫等の発見、また一方では、社会の様々な決まり等を、子どもたちが興味や関心ごとを低年齢の子どもに話かけたり、応えたり共有している。教え込んだり、覚えさせたり、やらせたりするのではなく、自主性を尊重した見守る保育を行う中で、トラブルも自分たちが話し合う仕組みをはじめ、子どもたちがそれぞれ自分の興味や関心、やりたいと思う気持ちを伸ばすことに意を用いた保育を実践している。

中でも、年間を通じた絵本の読み聞かせに力を入れており、特に本年は、国際大学の本の読み聞かせ学生ボランティアの協力を得て、毎月の交流を通じた創造性の芽生えと集中力の養成につなげた。

(2) 情報公開については、社会福祉法人制度改革により、保育内容、現況報告、財務内容や苦情相談等をホームページ上に、また就業規則や職員の給与規則等、保育所の自己点検票は、公開資料綴りで閲覧可能としている。

(3) 「食育」は、育ちの中でも大切な柱に位置付け、管理栄養士を配置し、自然素材を積極的に取り入れた独自調理を実施している。増加傾向にある食物へのアレルギー疾患児童に対しては、保護者からの聞き取りを基に管理栄養士・調理士・保育士が連携してこどもの状況を的確に把握するとともに、写真付き除去確認票で確認する等、給食を安全に提供する体制を整えている。保護者に対しても、食育についての研修をする等、望ましい食生活のあり方に力を入れてきた。



「わたしと子どもの絵本の時間」

保護者の会会長 平本 紗智子

横路保育所では、定期的に先生や国際大学の学生さんによる絵本会や、絵本の貸し出しなど、絵本に触れる機会を設けてくださっています。私の息子は、「今日はこんな本だった、〇〇先生が読んでくれた」などと笑顔で話してくれ、絵本会をとっても楽しんでいるようです。

我が家では絵本を寝る前に読んでいます。私にとってこの時間は、子どもたちと過ごせる温かい時間です。しかし、そう思うようになったのは、つい最近のこと。それまでは子どもたちを寝かせるために必死でした。仕事と家庭とで忙しい毎日、夜は私の方がクタクタになっていることも多く、絵本を読むのが苦痛で、早く寝て〜！と切望しながら、時にはイライラしながら読んでいました。

ある時期、息子が感情を荒げたり、なかなか興奮が冷めない日が続きました。悩んでいた時にふと思いついたのが絵本の時間でした。一緒に過ごせる限られた時間のうちで少しでもゆっくりと親子で安らぐ時間があれば、子どもの心に何か変化があるのではないかと考え、子どもの心を癒す気持ちでゆっくりと丁寧に読むように変えました。徐々に息子は、前よりも絵本を真剣に、落ち着いて聞くようになり、そのまま自然に寝入るようになりました。ただ、何よりも変化したのは私の方で、もう前のように絵本を読みながらイライラすることはほとんどなくなりました。私にとって絵本の時間が、子どもたちと向き合う大切な時間になったからかなと思います。

息子は今まで以上に絵本が好きになったように思います。保育所で絵本を借りてきては、「今日は何の絵本を借りたでしょうか？」とクイズをしてくれます。今年度からは、保護者への絵本の貸し出しも始まったので、子どもと一緒に選ぶのが楽しみです。改めて、このような機会を作ってくださっていることに感謝するとともに、絵本を通して自分の育児を振り返るきっかけができたことを嬉しく思っています。



保・小・中
合同避難訓練



祭
なつまつり



とうもろこしうえ指導
(JA 営農販売課)



入園式

「夢を叶えるために」

保育士 棚原 優美

私が保育士になったきっかけは、小さい子が好きで、幼い頃から親戚や近所の子どもたちと一緒にあそぶ機会が多く、お世話や相手をしていくうちに、子どもに関する仕事に就きたいと思ったからです。その夢を叶えるために、親元を離れ、短大で保育について学んできました。課題や実習に追われた二年間でしたが、「保育士になりたい」と思ったあの頃の気持ちを思い出し、必死で乗り越えてきました。

そして、短大を卒業後に縁あって横路保育所に勤めさせて頂くことになり、憧れの保育士としての生活がスタートしました。

一年目は、何も初めてのことでばかりで、戸惑いと不安な気持ちでいっぱいでしたが、経験豊かな先輩方からたくさんのお話を教わり、日々新しい発見がある一年でした。二年目に入り、今までは余裕がなく、目の前にあるものだけで精一杯だった私が、少しずつ周りが見えるようになり、先を見据えて考えられるようになってきました。それも、周りで優しくサポートしてくれる先輩方のおかげだと思います。また、保育でどうしたらいいのか悩んだ時には、さりげなくアドバイスを頂くので、私は、日々悩みながらも前に進むことができています。そして、仕事を通して、たくさんの人に出会い、自分自身が本当に多くの人に支えられていることに気づくことができました。これからも、常に感謝の気持ちを忘れず、しっかりと務めを果たしたいと思っています。まだまだ未熟な私ですが、子どもたちと共に成長していけるよう、向上心を持ち続けて、精進していきたいと思っています。



創立記念の会

